

じんけん

JINKEN
第163号
(通巻 290号)
2025年5月9日発行

INDEX

特集

2025県人教 (公社) 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

学校教育と社会教育をつなげて進める「人権のまちづくり」をめざして 2

県人教事業より 4
こんにちは県人教事務局です

県人教事業より 5
刊行物・書籍の紹介

県人教事業より 6
第47回大分県人権・部落差別解消教育研究大会
ならびに第10回大分県人権・部落差別解消保育研究集会
ヒューライツフォーラム2025 佐伯大会について (案)

県人教事務局から 7
研究課題2025について

研修情報 8
第51回九州地区人権・同和教育夏期講座
～ふれあい食堂みかづき～

こどものまなざし 9
「差別について学ぶ理由」 豊後大野市 十時 ゆうかさん

INFORMATION 10
会員・賛助会員の募集について



 公益社団法人
大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

大分県大分市大字下郡496-38 大分県教育会館内
TEL: 097-556-1012 FAX: 097-556-0864

URL <https://kjkoiita.jp/wordpress/>
E-mail hello@kjkoiita.jp

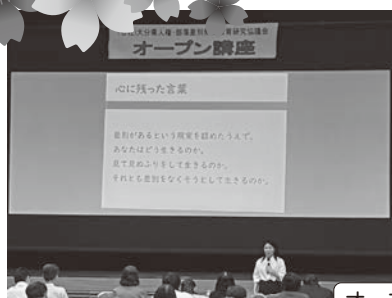


◀大分県人教の
ホームページは
こちら

印刷 小野高速印刷(株)

(公社) 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

学校教育と社会教育をつなげて進める 「人権のまちづくり」をめざして



オープン講座



オープン講座



合同乳幼児期学習会



ヒューライツフォーラム

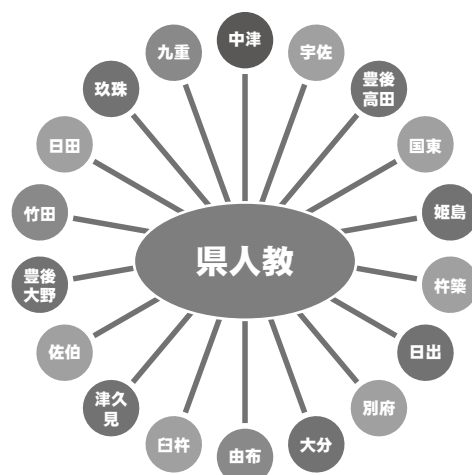


私たち県人教事務局は、部落差別をはじめとしてあらゆる差別を解消していくために、各地区で人権教育を基盤とした支援体制づくりに尽力される皆様とともに歩むため、私たちにできることを模索しながら事業づくりをしていきたいと考えています。今年度も、昨年以上に学校教育と社会教育をつなげて進める「人権のまちづくり」をテーマに、会員のみなさまのたくさんの願いや意見をうかがいながら進んでいきたいと思っています。

各地区代表者研修会

義務制16研究会、高校8研究会とともに18市町村の社会教育担当者と県人教事務局がつながって、1年間の研究体制や事業計画を協議していく場です。

各研究会をつなぐ様々な事業について、代表者42人とともに協議します。まちごとの取り組みを共有することで、それぞれ固有の課題の解決の手がかりとなるような会をめざしています。



① 4月24日(木)

13:30 ~ 16:30

② 10月2日(木)

13:30 ~ 16:30

③ 2月19日(木)

13:30 ~ 16:30

部落問題学習実践講座

実践を綴り、討議を重ねる研修や、フィールドワーク等とおして部落差別の実態を学びながら、学校教育の中での部落問題学習の推進を模索する「部落問題学習実践講座」です。参加対象者に加えて、多くの参加希望者が予想される学習会です。全ての参加者とともに課題を共有し、日々の実践につなげていきます。

今年度も、参加者自身が抱く実践の課題を、実践交流・レポート討議・フィールドワークや懇談会とおして解決していけるように準備を進めています。

- | | | | |
|---------------------------|-------------|---------------------------|-------------------------|
| ① 7月3日(木) | ② 10月9日(木) | ③ 11月6日(木) | ④ 1月29日(木) |
| 10:00～16:00
(午後オープン講座) | 13:30～16:30 | 13:00～16:00
(フィールドワーク) | 13:30～16:30
(レポート交流) |

進路・学力保障学習会

子どもたちの確かな未来をひらくための学習会を年3回開催しています。各地区研究会の協力で進められている進路調査や就学支援状況調査などの分析と、まちごとの課題の共有から、課題解決の実践のあり方を協議しています。

また、大分県内外の進路・学力保障の情報も共有していますので、各地区研究会からは進路・学力保障担当者が参加しています。参加を希望する会員にも対応していますので、参加希望があれば事前に県人教事務局までご連絡ください。

- | | | |
|-------------|-------------------------|-----------------------------|
| ① 5月8日(木) | ② 11月13日(木) | ③ 2月5日(木) |
| 13:30～16:30 | 13:30～16:30
(レポート交流) | 13:00～16:00
(14時～オープン講座) |

オープン講座

会員のみなさまをはじめとして、県民の全員を対象とした講演会を開催しています。年間6回の開催ですが、そのうち1回は各地区研究会や担当者からの開催希望を募集し、希望地域があれば講演会の出前をしています。希望が出ない場合は、通常のオープン講座にかえて開催しています。

2025年度の1回めは部落問題について、三重県より川島三由紀さん。今年度は、夏期集中講座（第2回徳田靖之さん・第3回木村泰子さん）（第4回阿久澤麻理子さん）2日間設定しております。学校等の人権教育研修として参加してみたいかがでしょうか。5回めは熊本県より平井靖彦さんです。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 7月3日(木) | ②③ 7月23日(水) | ④ 8月22日(金) | ⑤ 2月5日(木) |
| 14:00～16:00 | 10:00～15:30 | 10:00～12:00 | 14:00～16:00 |

こんにちは 県人教事務局です

県内1万人を超える県人教会員・賛助会員のみなさま。いつも県人教に対する理解とともに、様々な形でのご協力ありがとうございます。2025年度も、県内各地区31研究会とのネットワークを基盤に、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消をめざし、「人権のまちづくり」に向けて実践を重ねられるように、効果的な事業を提供していけるように努力したいと思います。

今年度も、各地区での研修会や講演会の開催を計画されていることと思います。大分県人教にも是非相談ください。

事務局員紹介

県内各地区31研究会の主催行事や連携事業に対して、**県人教事務局員**が支援することができます。

事務局長 藤田 一樹 (ふじた かずき)

主な連携内容 管理班

【メッセージ】 立場は変わりますが、研修会等でより多くの方と思いや考えを交流し、部落差別問題をはじめとするあらゆる人権問題に関わる話を聴くことを通して、人権感覚を高め、磨きながら身近なところからできること、やらなければならないことにしっかりと向き合い、実践していこうと思います。

事務局員 足立 哲範 (あだち てつのり)

主な連携内容 高校教育担当

【メッセージ】 事務局長から3年ぶりに高校教育担当に戻りました。前任の時枝さんの分も継承しながら、各地区の方にもでかけていき、地域の課題解決に向けて一緒にやれたらいいと思っています。部落問題学習実践講座、進路学力保障学習会は私が主担当となります。よろしくお願いします。

事務局員 橋本 淳子 (はしもと じゅんこ)

主な連携内容 乳幼児期・社会教育担当
こどもの権利について

【メッセージ】 こどもの人権を中心に、考えること満載です。今年は、もっとみんなで語り合う時間ができるといいと思います。いろんな気づきを重ね合わせていきましょう。よろしくお願いいたします。

事務局員 了戒 隆輔 (りょうかい りゅうすけ)

主な連携内容 義務制教育担当
HF、各種研修支援

【メッセージ】 県人教事務局3年めになります。研修や当事者の方の話からたくさんの気づきを得て、これは限定的な問題ではなく、近頃の問題だと考えます。自身がどう動くか。学びを止めないよう歩みたいです。

事務局員 塚本 由美 (つかもと ゆみ)

主な連携内容 管理班

【メッセージ】 この数年、月ごとにテーマを決めて過ごすようにしています。大掃除月間、運動月間、メルカリ販促月間etc. 今年はさまざまな人権問題について勉強する月間を設けたいと思います。



【お問い合わせ先】

大分県人教事務局

TEL
097-556-1012

E-mail
hello@kjkaita.jp

刊行物・書籍の紹介



大分県人教では、研修会や学習会を通してさまざまな資料をお届けし、その資料をもとにして連携した研究を進めています。そのような中、冊子の形で発刊している3つの刊行物があります。それぞれ、「就学支援パンフ」「人権作文集」「進路本」と呼ばれるものです。校内の研修や保護者との懇談の際、活用できたらと思い編集しております。配付前に簡単に紹介します。是非ご活用ください。



知っていますか？就学支援のための制度2025

大分県内の就学支援の状況について、市町村の情報も更新しながら編集しています。今年度は、高校進学時にどれくらいのお金が必要なのかを、県内の各高校の協力の下にデータ化することができました。また、国の高校授業料の無償化にともなう措置についても、方針を記載しました。新しい状況をお伝えすることができました。

こちらは、県内の小学校6年生と中学3年生の保護者、そして中学校2・3年生の子どもたちに無償配付しています。また、県及び市町村の相談窓口にも配置してもらえるようにお願いしています。



2025年度人権作文集「ひかり」第37集

各地区研究会や解放子ども会に協力いただきながら、県内の子どもたちの人権作文を募集しています。たくさんの応募作品の中から20作をこえる作品を選定し、「自分・家族」「なかま」「くらし・生きる」「差別・偏見」の4つの観点に分けて紹介しています。

県内の学校に3冊ずつとともに、連携している隣保館等にも無償配付しています。特に作文のいくつかは、会員のみなさまとともに考えていきたい子どもたちの願いや困りとして、県人教ニュース「じんけん」の「こどものまなざし」コーナーに掲載しています。5月末配付予定です。



子どもたちに確かな未来を ～大分の進路保障・人権教育実践資料集2025～

3つの特集（①学校と地域で支える進路学力保障 ②徳田弁護士の講演内容 ③こども基本法）を組みました。

義務制や高校への8つの調査をもとに、子どもたちがどのような進路を保障されているのか、また保障するためにはどのような課題があるのかを分析したものを公開しています。あわせて、全国・九州段階で発表した実践を掲載しています。

例年、年度末に各地区研究会や社会教育担当者に購入希望をとって、5月末に配付予定です。

<大会概要>

第47回大分県人権・部落差別解消教育研究大会 ならびに第10回大分県人権・部落差別解消保育研究集会 ヒューライツフォーラム2025 佐伯大会について（案）

1. 期 日 2025年10月31日(金)・11月1日(土) ※2日開催
2. 大会テーマ 差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう
3. 地元テーマ 「誰か」のことじゃなく、「わたし」のこと！
～部落問題をはじめとする様々な人権課題からみつめなおそう！自分自身を！～
4. 大会規模・会場
 - 大会規模：参加者 約900人（会員外の参加者を含むとともに、会場収容規模も考慮）
 - 会 場：＜全体会＞さいき城山桜ホール 弥生地区公民館
＜分散会＞佐伯市内小中学校 他
 - 主催（共催）について
 - 主 催：（公社）大分県人権・部落差別解消教育研究協議会
大分県人権・部落差別解消保育連絡協議会
 - 共 催：ヒューライツフォーラム2025実行委員会
5. 資料代 3,500円
6. 内容構成
 - 1日め…◇全体会
 - ・開会行事
 - ・基調提案 県人教事務局
 - ・ヒューライツステージ
 - ・記念講演 川口 泰司 さん
 - ◇ヒューライツミュージアム
 - ・人権に関する展示（地元のとりくみなど）
 - 2日め…◇分科会
 - ・第1分科会 乳幼児期に関わって
 - ・第2分科会 教育の創造
 - ・第3分科会 自主活動
 - ・第4分科会 進路・学力保障
 - ・第5分科会 学習・啓発活動
 - ・第6分科会 人権のまちづくり
7. 大会日程

	9:00		12:00	12:50	14:15	16:05	
10月 31日 (金)	準備 リハーサル		受付	開 会 行 事	基 調 演 説	ス テ ー ジ 発 表	記念講演
			ヒューライツミュージアム				前日 打合せ 集計 片付け
	9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	
11月 1日 (土)	準備	受付	分散会 実践報告	昼食 休憩	分散会 実践報告	片付け	

研究課題2025について

公益社団法人 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

研究課題 2025

5

I. はじめに 3

10

1. 『差別の現実から深く学ぶ』ことから 3

2. 部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けた教育を 3

15

II. すべての人の自己実現をめざして 5

1. 人権教育をとりまく状況 5

20

- (1) 人権教育の確立に向けた状況
- (2) 人権問題の現状と課題
- (3) 経済支援と教育の機会均等
- (4) さまざまな立場の子どもたち・保護者への支援

25

2. 私たちのすすめる人権教育 ～県人教が大切にしたいこと～ 8

- (1) 「とらえる」
- (2) 「ふかめる」そして「ともにぞだつ」
- (3) さらなる人権教育の深化と充実をめざして

30

III. 研究課題とその具体的なすすめ方 10

1. 人権を守る環境づくりを 10

35

2. 生きる力の根っこづくり「乳幼児期にかかわって」 11

- (1) 同和（解放）保育の視点と、子どもの権利としての保育
- (2) 子どもの人権を真ん中に据えた連携を
- (3) 子どもアドボケート活動について

40

3. 人権確立をめざす「教育の創造」

- (1) 子どもたちの立場に立った「人権についての教育」を
- (2) 部落の子どもをはじめ、被差別状況の子どもたちを中心に
- (3) 子どもの生活課題、なかまづくりの課題と結合した部落問
- (4) 地域と結合した教育内容…授業に臨む教職員の感性や認識
- (5) どのように理解しているかの把握を

45

4. 人権尊重社会確立の主体者を育てる「自主活動」

- (1) 社会的立場の自覚と子どもの要求から始まる「自主活動」
- (2) 反差別の主体形成をめざすなかまづくり
- (3) 周りのおとなや教職員の立ち位置

50

研究課題 2025 - 1 -

「差別の現実」は見ようとしなければ見えません。私たちのまわりにはどのような現実があり、私たちはどのように生きて行くべきなのか、私たちの先達がこれまで積み重ねてきた「実践」と「思い」があります。この研究課題には、単に「差別はいけない」という観念ではなく、そのような「事実と実践」と、その中で大切にしている取り組みの方向性や「思い」が書かれています。

何が課題で、どんな視点からの取り組みが必要なのか、自分自身の関わることを、必要なときに読んでいただき、日頃の実践の中で活かしていただければありがたいと思います。

なお、研究課題につきましては、5月下旬にホームページに掲載します。

5. 子どもたちの未来を確かなものにする「進路・学力保障」 19

- (1) 子どもたちの未来を確かなものにする「進路・学力保障」
- (2) 不登校について
- (3) 義務教育出口の課題
- (4) 就学支援・奨学金制度
- (5) 中途退学・休学について
- (6) 進路・就労保障について
- (7) 定員内不合格について
- (8) 色覚検査について
- (9) 応募前職場見学について
- (10) 外国にルーツをもつ子どもたちの進路保障（在住外国人教育）
- (11) 「障害」のある子どもたちの就学保障について（インクルーシブ教育）

5

10

15

20

6. 持続可能な「人権のまちづくり」に向けて 29

- (1) 社会教育における学習・啓発活動の充実と発展を
- (2) 地域における子どもたちの活動の継承と発展を
- (3) 子どもを守り育てる地域教育力
- (4) 「人権のまちづくり」に向けた地域における「人権文化」の創造を

25

IV. おわりに 34

30

V. 2025年度 研究課題の資料 35

35

1. 同和教育の成果 35

30

2. 大分県人権教育推進計画（改訂版）から抜粋 36

35

3. 「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」の全文 37

35

4. 県人教作成の刊行物・資料等に活用している言葉について 38

県人教ホームページを活用してください。

人権教育・啓発実践のために必要な情報を掲載しています。今後、ますます充実させていく予定です。

Q 大分県人教 検索 で検索を！

第51回九州地区人権・同和教育夏期講座

～ふれあい食堂みかづき～

「ふれあい食堂みかづき」がある玖珠町北山田地区は、過疎化による人口減少、少子高齢化（2024年70才以上764名、小学生74名）が進み、地域の主体産業である農業の担い手不足で耕作放棄地の拡大、空き家の増大、食料品店の撤退（廃業）、交通便の減少などの現状である。そんな中2020年2月に玖珠町主催の地域づくり推進事業に参加し、地域活動の必要性を認識した女性部会が中心となり、『地域食堂を立ち上げ、交流をはかるのはいくらか』と提案をし、2022年4月にオープンをした。

その取り組みは「ヒューライツフォーラム2024玖珠・九重大会」で人権のまちづくりの分科会で報告され、2025年「第51九州地区人権・同和教育夏期講座」でも報告することが決まった。

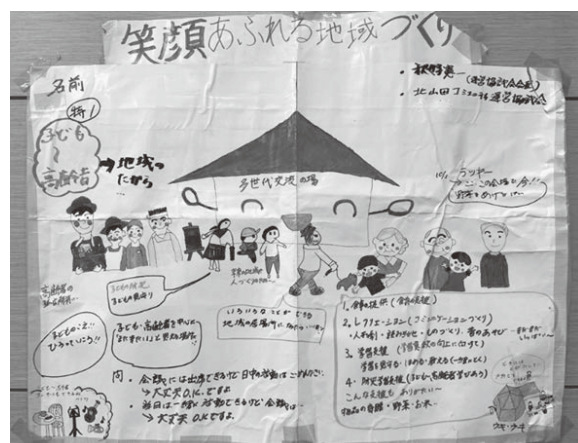
秋好憲一さん：HFの報告は非常によい経験となりました。これまでの取り組みをまとめることによって、「ふれあい食堂みかづき」に集う人たちの思いを知り、北山田地区のつながりが強まりました。

湯浅博文さん：九州での報告は大変だと思いますが、いい機会と思っています。人権について学び続けなければいけないと思っています。報告をすることで自分自身が学び、変われると思っています。



秋好稔さん：自分は、人とふれあうのに抵抗があった。一人でなにかを作る事が好きだったが、この会に誘われて参加するようになって、子どもに得意な折り紙なら教えたいなと思ってふれあううちに、自分のペースでやればいいと思えるようになった。

齋藤ひろ子さん：「ふれあい食堂みかづき」には、さまざまな世代の人たちが、それぞれ思いをもって参加しています。これまでかわりなかった人の思いを知れたり、笑顔で談笑すると新たな面が見えたりします。今後もみんなが参加しやすい場を考えていきたいです。



【第51回九州地区人権・同和教育夏期講座】

日時：2025年8月19日（火）20日（水）

会場：全 体 会…佐賀市文化会館（大ホール）

特別講座…佐賀市文化会館（中ホール）

分 科 会…佐賀市文化会館、メートプラザ佐賀、牛津公民館、神崎市中央公民館

参加・資料代：3,000円



こどものまなざし

このコーナーでは、人権作文集「ひかり」に掲載された作品を紹介していきます。子どもたちが日常生活の中で考えたこと、感じたことなどにふれ、子どもたちの姿から学んでいきたいと思います。

差別について学ぶ理由

「差別はだめだってみんな分かっているのに、どうして私たちは差別について学習するのでしょうか。」

学校で、子ども会の人たちの人権げきを見た後に、教室で、先生が言った言葉です。差別はだめだって、自分もわかっていたけど、学習する理由は考えたことがなくて、理由はよくわかりませんでした。みんなが答えられないでいると、

「差別って、自分がされた時は、気づくけど、自分がしている時って案外気づかないもんなんだよ。」と先生は、付け加えました。その時、私は、ある事を思い出して、「はっ」としました。なぜなら、その時思いうかべていた事は、まさに自分がしたことだったからです。それからゆっくり考え、ある事を思い出しました。それは、体育で、ドッチボールのチーム決めのことでした。

じゃんけんをした時は、なかよしの友だちとチームになりたいと思っていました。でも、じゃんけんの結果、なりたい人とは、なれなくて、その時はとても残念に思っていました。しかも整列してみると、あまり遊ばない友だちが同じチームだとわかりました。私は、正直言うと、ドッチボールのやる気がなくなりました。でも、その人はワクワクした顔で、私に、
「頑張ろうね。」

と声をかけてくれました。私は、残念な気持ちだったので、あまりうれしくありませんでした。残念そうな私の顔を見て、その人は、しょんぼりとした表情に変わり、コートの上に行っていました。

その時のわたしは悪いことをしたとは思っていませんでした。でも、思い返すと、相手をととても傷つけてしまったんじゃないのかなと反省しました。

私はその時、せっかく声をかけてくれたんだから、私も、
「よろしくね。勝てるようにがんばろうね。」

と返してワクワクした表情でドッチボールを楽しめばよかったんじゃないかと思います。

私がした事は、その人を傷つけ、周りの人もなんとなく暗い表情になってしまい、私の気持ちで周りの人までいやな思いをさせてしまったことはよくなかったと思います。これから同じようなことがあれば、自分が楽しめるようにすることと、相手の気持ちにもよりそえるようにになりたいです。

「差別はいけない。」ということは、みんなきっと分かっているはずですが。それでも考えなければいけない理由は、きっと身の回りの差別に気づくことよりも、自分の中の差別してしまっている心に気づくためだと思います。これから差別で傷つく人がいなくなるためにも、自分が差別をしないようにしていきたいです。

人権作文集ひかり2024【第36集】

豊後大野市小学校 四年 十時 ゆうかさんの作品より

学ぶことは、私たちの視野を広げてくれます。差別についても同じで、学ぶことで自分の心の中の目がひらかれていくのだと思います。普段生活している中では、自分がした差別には、なかなか気がつかないものです。私たちが差別について学ぶのは、「自分の中の差別してしまっている心に気づくため」。学び続けることの意義を感じます。

義務16研究会、高校8研究会、18市町村が所属する社会教育7研究会の合計31研究会に所属するみなさんが正会員の対象となります。

会員募集について

公益社団法人 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

人権とは「空気」のようなものだと言われます。それがあつた時は当たり前でないとこれほど苦しいものはありません。人権とはなにか特別ものではなく、すべての人が自分らしさを輝かせて生きていくために不可欠なものであり、ましてや人権という視点の抜け落ちた教育はありません。

かつては、「今日も机にあの子がいない」という状況に多くの教師が心を痛めることもなく部落の子どもの置かれている状況を、親の怠惰、教育への無理解ととらえ、家の畳の枚数や家庭状況、親の収入、住んでいる場所等、本人の能力・適性とは何ら関係のないところで就職の採用・不採用が決められるようなことがありました。そんな時代に、子どもたちの向き合われている“差別の現実”に胸を痛めた教職員が立ち上がり、その立ち上がりはまたたく間に大分県全体へとひろがり、1976年の県同教（現県人教）設立につながりました。

以来、この教訓は「差別の現実から深く学ぶ」という言葉で繰り返し語られ、大分県内の教育・啓発に関わる多くの方々が主体的に県人教会員となり、各地研究会とともに、研究と実践を重ねながら、今日まで以下の5点を大切にしながら大分県における部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくしていく人権教育の内実をつくりあげてきました。

- ①各種アンケート調査の実施・分析等により被差別当事者の声を明らかにすること。
- ②研究大会や研修会・学習会を通して私たち自身の実践を検証し、その全体化を図ること。
- ③人権課題の克服に向けたとりくみの方向性を提起すること。
- ④さまざまな立場で人権問題の解決に向けて取り組む人や組織をつなぐこと。
- ⑤人権確立のための制度やシステムを関係機関に要求すること。

公益法人制度改革により2013年4月より県人教は公益社団法人として新たにスタートを切りました。このことは、私たちの取り組みが差別の解消をめざす「公益」のものであるということがあらためて認められたということです。

2016年には、「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ解消法」、「部落差別解消推進法」と人権個別課題に関する理念法があいついで施行されました。私たちは、これらの法律や県の方針を受けて、取り組みを進めていく必要があります。県人教は、これまで以上に部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくしていく人権教育・啓発の推進において責任ある立場となりました。部落差別をなくすことを強く打ち出していくために、2020年に「公益社団法人 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会」と名称変更しました。

会員の年会費は2,000円（地区研究会会費別）です。会員のみなさまには県人教ニュース「じんけん」（年6回発行）、パンフレット「知っていますか？就学支援のための制度」、人権作文集「ひかり」（職場単位で配付）をお届けします。誰もが楽しく安心して暮らせる社会、真に豊かな県民の人権文化の創造のために、ぜひみなさまのお力をお貸しください。多くの方々のご入会をお待ちしています。

正会員は31研究会に所属する方が加入していますが、賛助会員は県人教の趣旨に賛同するみなさんが加入する制度です。各地区研究会から声をかけています。

みなさまの力を県人教に!!

公益社団法人 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

年会費
1,200円

賛助会員の募集



だれもが安心して
自分らしく生きていける
人権のまちづくりをめざして



こんな事業をしています

大分県人教は、「人権という普遍的な文化の創造と共生社会の実現をめざし、人権教育を通じて広く県民の人権意識の高揚及び人権尊重の態度や技能を育成する」という目的のもと、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けた教育の研究を行っている団体です。

私たちの身のまわりにはまだまだ解決すべき人権問題がたくさんあります。だれもが楽しく安心して暮らせる「人権と共生」の社会にしていけるためにも、ぜひあなたのお力をお貸しください。より幅広い人たちと連携して事業を行っていくために賛助会員（本会の目的に賛同していただける個人又は団体）を募集しています。

研究成果の発表・実践交流

大分県人権・部落差別解消教育研究大会(ヒューライツフォーラム)

県内各地の取り組みの実践報告・討議・講演と地元の人たちのまちづくりを紹介します。

研修会・学習会・講演会

会員対象の研修会・学習会のほかに、「いい話を聞きたい」という声にこたえて、オープン講座(講演会)を行います。(ホームページでご確認ください)

教材、書籍の販売

人権教育・人権保育・人権啓発に関する実践本を販売しています。

「子どもたちに確かな未来を 大分の進路保障・人権教育実践資料集」
..... 2,500円

県人教ニュース「じんけん」の発刊

さまざまな人権教育・人権保育の情報を発信します。

ヒューライツ作品展

人権にかかわるテーマに即した写真や作品を募集しています。

啓発パネル、ビデオ、DVD等の貸し出し(無料)

詳しい内容は県人教ホームページに掲載しています。さまざまな人権課題についての学習・啓発にご活用ください。

「知っていますか? 就学支援のための制度」・ 「人権作文集 ひかり」(各学校単位)の配付(無料)

学校教育及び社会・家庭教育でも活用できる資料等を開発して配付しています。

公益社団法人 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

会員の募集

大分県人教は、「人権という普遍的な文化の創造と共生社会の実現をめざし、人権教育を通じて広く県民の人権意識の高揚及び人権尊重の態度や技能を育成する」という目的のもと、人権教育の研究を行っている団体です。

私たちの身のまわりには、まだまだ解決すべき人権問題がたくさんあります。だれもが楽しく、安心して暮らせる「人権と共生」の社会を実現していくためにも、ぜひあなたのお力をお貸しください。より幅広い人たちと連携して事業を行っていくために会員を募集しています。

研究成果の発信

県内各地での取り組みを
報告・討議します

大分県人権・部落差別
解消教育研究大会
10月31日・11月1日

教材・書籍の販売

さまざまな場での
実践に繋がるものを
刊行・販売しています

子どもたちに確かな未来を
大分の進路保障・人権教育
実践記録集2025

パンフレット等 無償配付

「知っていますか？
就学支援のための制度」
人権作文集「ひかり」
学校や行政窓口に配布

啓発DVD等 無償貸出

DVD・ビデオに加え
啓発用の展示パネル等
無償で貸し出しています
HPで紹介

ニュース「じんけん」 全会員へ発行

人権教育・保育や
社会教育の取り組みを
県内外の情報とともに
発信します

人権啓発作品展 (ヒューライツ作品展)

人権テーマにそって募集
写真や作品をととして
人権啓発の場づくり

学びの場づくり

会員対象の
研修会・学習会を開催
自由参加のオープン講座
HPで紹介

県人教会員の年会費は2,000円（各地区研究会会費別）です。会員のみなさまには、県人教ニュース「じんけん」（年6回発行）、就学支援のためのパンフレット、人権作文集「ひかり」（職場単位で配付）をお届けします。

こちら 編集部

2025年度になりました。人権に関わる研修やレポートなどの情報が、読者のみなさんに近づけたらという思いで編集していきます。年度末から年度始めは、カレンダーや年間行事を何度も見ます。人権が尊重される取り組みをたくさんお届けできればと発行計画を手帳に書き込んでおります。（りよ）